

令和5年度第1回有田市地域公共交通会議議事録

日 時：令和5年6月27日（火）14：00～14：30

場 所：有田市消防本部5階 多目的会議室

【出席委員】

田代会長、一ノ瀬委員、狹間委員（大谷代理）、宮崎委員、中井委員、高垣委員（上平代理）、北村委員、前委員、原委員、川島委員（松本代理）、竹中委員、松田委員（後藤代理）

【欠席委員】

鈴木委員、中本委員、森下委員、川村委員、坂前委員

【事務局】

嶋田部長、早川理事、山本課長、山原係長、宮井副主任

【議案】

議案第1号 令和5年度決算の承認について

議案第2号 令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画の承認について

【その他】

路線の再編について（資料なし）

【議事】

1. 開会（事務局）

ただいまより、令和5年度第1回有田市地域公共交通会議を開催いたします。本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

本日は過半数以上の委員の皆さまにご出席いただいておりますので、本会議設置要綱第5条第2項により本会が成立いたしましたことをご報告いたします。

それでは、まず始めに本会の会長である田代副市長よりご挨拶よろしくをお願いいたします。

2. 会長挨拶（田代副市長）

皆さん、こんにちは。

本日はお忙しい中、有田市地域公共交通会議にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

この度の豪雨災害では本市も含め、県内市町村に多大な被害がございました。被災された方々には心からお見舞い申し上げます。また、現在も復興にご尽力されている皆さまには安全に留意されご活躍されることをお祈りいたします。

さて、委員の皆さまにおかれましては、日ごろよりデマンドバスの運行を始めとする本市の公共交通の維持・発展にご尽力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年度は地域公共交通のマスタープランとなる有田市地域公共交通計画を策定し、持続可能な地域公共交通体系の実現に向けて取り組みを進めているところでございます。

本日は令和4年度決算も含め、今後の当会議の運営や地域公共交通機関のあり方などについて、活発にご協議していただくよう、よろしくお願い申し上げます。

最後に、会議のスムーズな運営にご協力いただきますようお願い申し上げます、簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。

3. 委員紹介（事務局）

それでは、令和5年度最初の会議となりますので、委員の皆様方におかれまして、職場の人事異動等により交代された方もいらっしゃると思います。この度、新たに2名の方に委員にご就任いただき、1名の方には、再任いただいておりますので、議事に入る前に、事務局より委員の皆様全員をご紹介しますのでご了承ください。なお、ご紹介は名簿順でさせていただきますのでご了承ください。

（委員紹介）

委員の皆様におかれましては、今後とも当会議の運営にご協力の程よろしくお願い申し上げます。それでは本会議設置要綱に基づき会長に議長をお願いし、議事に移らせていただきます。田代議長よろしくお願い申し上げます。

4. 議事

（田代議長）

それでは、議事に移らせていただきます。

本日の議事は、議案2件及びその他1件でございます。

それでは、議案第1号「令和5年度決算の承認について」を事務局より説明願います。

（事務局）

議案第1号「令和4年度決算の承認について」をご説明させていただきます。

右上に「議案第1号」とある資料をご覧ください。1ページは当会議の令和4年度決算報告ということで、歳入といたしまして、有田市からの負担金216万1,995円となっております。2.の補助金に関しましては、昨年度策定いたしました有田市地域公共交通計画に係る補助金として国から75万円となっております。3.の繰越金につきまして、令和4年度はありませんので0円となっております。また、4. 諸収入といたしまして広告料収入及び利息で75,015円となっております。以上、歳入合計で298万7,010円となっております。

続きまして、歳出といたしまして、1. 運営費の会議費で47,930円、事務費といたしまして4,080円となっております。2. 事業費に関しましては、有田市地域公共交通計画の策定に係るコンサル会社へ業務委託費用で286万円、広告料収入の75,000円を事業者の中紀バスさまに支出しております。3. 予備費はありませんでしたので、歳出合計といたしまして298万7,010円となり、歳入・歳出同額となっております。

なお、バス運行に関する国庫補助金は、運行事業者である中紀バスさまが直接、国へ申請し、補助金においても直接、中紀バスさまに振り込まれるので、それ以外の経費、当会議の運営経費の決算報告と

ということになります。

また、参考資料として3ページにデマンドバスの令和4年度収支実績をつけております。

収入につきましては、運賃収入で115万7,620円、国庫補助金が令和4年度分で367万1,000円、有田市からの補助金が367万1,000円となっています。

支出につきましては、運転手の人件費で591万5,535円、一般管理費人件費で149万9,401円、燃料代199万94円、バスの修繕費147万5,782円、車両使用料660万円、合計1千743万812円となり、差し引き893万1,192円の赤字となっています。先ほど説明しました当会議から支出しています。広告料収入につきましては、これ以外の経費、利用促進にかかる経費や事務費に充てられております。

ご質問、ご意見等をいただく前に「要綱第10条第3項」の規定に基づき、2名の監査委員に監査して頂いておりますので、谷中監査委員よりご報告をお願いいたします。

(監査報告)

(田代議長)

ありがとうございました。監査報告が終わりました。

令和4度有田市地域公共交通会議の決算について、ご質問、ご意見等ございませんか。

(質問、意見なし)

(田代議長)

ご異議がないようですので、議案第1号「令和4年度決算について」は承認されました。

それでは、引き続き議案第2号「令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画の承認について」を説明願います。

(事務局)

それでは、地域内フィーダー系統確保維持計画の概要から説明いたします。バスの運行経費に対する国庫補助金を活用するためには、本計画を法定協議会である当会議で策定、承認をいただいて、国土交通省に提出しなければなりません。

フィーダー系統とは、バスの停留所、鉄道駅、海港及び空港において、地域間交通ネットワークと接続する系統をいいます。

地域間交通ネットワークとは、複数の市町村にまたがる公共交通網のことであり、有田市デマンドバスは、JR箕島駅で鉄道と乗り継ぎできるようにしております。

また、令和6年度の意味ですが、この計画は令和5年10月から令和6年9月までの運行分となっております。国の予算では令和6年度予算から補助金が支出されるためです。

なお、昨年度皆様にご審議いただき有田市の公共交通のマスタープランである「有田市地域公共交通計画」を策定しました。今年度からはその策定した公共交通計画を本体とし、これまで「生活交通確保維持改善計画」で位置づけられてきました補助系統に関する事項のうち、公共交通計画本体に位置づけられている事項以外については、別紙として申請していくこととなります。

それでは、今回申請する計画の内容について説明いたします。右上に「議案第2号」と記載されている資料をご覧ください。

まず、1ページは地域公共交通計画認定申請書で、昨年度策定した公共交通計画のうち、地域公共交通確保維持事業に係る計画を申請することが記載されています。

2ページは、その公共交通計画本体に位置づけられている確保維持事業に係る位置づけや役割、必要性等の補助系統の記載箇所を示す一覧表となっており、3～12ページは実際の公共交通計画部分の抜粋となっており、

13～15ページは、公共交通計画の別紙となっており、公共交通計画本体に位置づけられていない確保維持事業の補助系統に関する事項が記載されています。

「1. 目的と必要性」では、少子高齢化の加速や高齢者の単独世帯が増加している本市において、高齢者を始めとする交通弱者の方たちの買い物や通院などの交通手段の確保が必要不可欠であり、行政・交通事業者・地域による努力のみでは路線維持が厳しいことから、確保維持事業を活用してバスを運行していく旨を記載しております。

「2. 定量的な目標・効果」ですが、公共交通計画45ページを参考に「デマンドバスの利用者数の増加」、「運行に係る行政負担額の現状程度の維持」、「収支率を現状値以上にする事」を目標としております。なお、利用者数については令和6年度開校予定の有和中学校の生徒による通学利用を踏まえた数値としております。また、事業の効果といたしまして、マイカーなしでも通院や買い物が出来、快適に暮らせる地域をつくることで、高齢者等の外出が容易になり、社会参加の促進や、高齢者による交通事故の防止が期待されるとしています。

「3. 2. 目標を達成するために行う事業及びその実施主体」については、公共交通計画46～51ページを参考に記載しており、有田市だけでなく国・県、事業者、地域が協力して取り組んでいく事業について記載しています。

「4. 運行系統の概要及び運行予定者」の『別表1のとおり』とは、16～18ページがその別表で、令和6年度から令和8年度分を添付しております。なお、令和6年度の内容で説明しますと、現在有田川の主に北側を回るAコースと南側を回るBコースがあり、停留所の回り方が合計5パターンございます。運行系統の列には、先ほども説明しましたが、すべての系統でJR箕島駅と接続していることを記載しており、補助基準に適合していることを表しています。なお、年度による内容の違いは特段ございません。

13ページにお戻りください。

「5. 確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額」については、例年有田市と運行事業者の協議の上で負担するとし、実際は運行事業者である中紀バス様のご負担となっていました。しかしながら、昨今の状況では今後の運行の継続が危ぶまれるということで、令和元年度より有田市としても補助のための予算を計上しております。補助内容を簡単にご説明しますと国の補助要綱と同等の要件で、国庫補助額と同額を限度として補助金をお支払いする予定となっております。

「6. 2. の目標・硬貨の評価手法及び測定方法」については、数値指標によるモニタリング・評価等を実施していくこととしています。

次に「10. 地域の概要」についてですが、別表5のとおりとあります。19ページをお開きください。ここでは、直近の国勢調査人口を用いることになっておりますので、令和2年の国勢調査人口を使っています。有田市は市域全域が半島振興法に基づく半島振興対策実施地域となっておりますので、交通不便地域の人口は有田市全人口の26,538人が対象人口となります。

15ページにお戻りください。

「18. 会議の開催状況と主な議論」では、昨年度及び今回の会議の開催状況と議題を記載しています。

「19. 利用者等の意見の反映状況」では、これまで通り意見を聞く体制が整っていることを記載するとともに、必要に応じてアンケート調査等を行っていることを記載しています。

21ページ以降には、路線図・時刻表などを添付しています。

また、右上に「参考資料」と記載されている資料には停留所別の乗降者数及び直近3年度分の利用者数を付けさせていただいております。

以上で、説明を終わらせていただきます。

(田代議長)

令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画について、委員の皆様方のご意見を頂戴したいと思いますが、何かございませんか。

(意見、質問等なし)

(田代議長)

ご異議がないようですので、議案第2号「令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画について」は承認されました。

それでは、次にその他としまして、事務局から「路線の再編について」お願いいたします。

(事務局)

まず、本市のデマンドバスは令和2年に効率的な運行の見直しと公共交通空白地域の解消を目的として、路線変更及びダイヤ改正を行いました。その結果、当初に比べて効率的な運行となり、また可能な限りの公共交通空白地域の解消ができたものと考えております。

しかしながら、有田市の公共交通を取り巻く環境は日々変化をしており、前回の改正から約3年の間で利用者からも様々な改善・要望の声をいただきました。また、有田市としても令和6年度から市内4中学校の統合などを控えており、交通弱者の移動手段確保はもちろんのこと、学生の通学利用等も考慮し、これからの利用者のニーズに合わせた路線変更及びダイヤ改正を行う必要があると考えております。

そこで来年度の「令和6年4月」からの運行を目標に、今年度「路線・運行系統の見直し」について検討していきたいと思っております。

具体的な内容や方針については、事務局である有田市と運行事業者の中紀バスで具体的な路線・運行系統案を作成し、和歌山県アドバイザー派遣制度等を活用しながら有識者の知見もお借りして決めていきたいと考えております。現時点でのメインターゲットとしてはマイカーを運転できない高齢者とし、加えて先ほどお伝えいたしました令和6年度開校の有和中学校の生徒の通学利用も考慮したいと思っております。また、市民の方々からいただいた要望も考慮しながら、通院や買い物等での市内主要施設への接続もより強化していければと考えています。

今後のスケジュールといたしましては、団体とも意見交換等を重ねていき、秋ごろに素案をまとめたうえで、委員の皆様にも共有させていただきます。その後、第2回会議で委員の皆様にご審議いただき、最終的には令和6年4月の運行を目標に取り組んでいきたいと思っております。

事務局からは以上です。

(田代議長)

その他の「路線の再編について」について、委員の皆様方のご意見を頂戴したいと思いますが、何かございませんか。ないようでしたら私から意見を言わせていただきます。

利用者のニーズに合わせて路線の再編を行うとのことですが、どのようにニーズ調査するのですか。
また、秋ごろに各委員に素案を示すとありましたが、秋に会議を開催するのですか。

(事務局)

ニーズ調査については、これまでに利用者からいただいた意見を参考にし、事務局・中紀バス・アドバイザーで協力して案を考えていく予定です。

また、会議の開催については、現時点では書面開催を予定しております。

(狭間委員 (大谷代理))

アドバイザー派遣については、県の事業として申請していただいているので、県も協力していきたいと考えています。

(田代議長)

ありがとうございました。その他ご意見はございませんか。

他にご意見等なければ本日予定していた議題については以上となります。

全体を通して他にご意見、ご質問等ございませんか。

(松田 彰久 (後藤代理))

6月2日の豪雨災害について、有田市からは中学校や文化福祉センターを開放していただき、ありがとうございました。また、中紀バスにもバス代行を手配していただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

また、令和6年度から有和中学校が開校になるということで、JR 紀勢本線も可能な限り、通学手段として利用してもらえるように有田市とも協議をしていきたいと考えています。

(田代議長)

ありがとうございました。その他ご意見はございませんか。

無いようでしたら、これで令和5年度第1回有田市地域公共交通会議を終了させていただきます。

皆様お忙しい中ご出席いただき、また本会の進行にご協力いただき、ありがとうございました。

5. 閉会